

2019 年度下期 家賃補助金交付先

2019 年度下期 家賃補助金交付先として、以下の 2 先を選出しました。

< 1 >

交付先 トライアングル プロダクツ ゲル ラボラトリー
 橘 理 絵 (柏市)

入居施設 東葛テクノプラザ (柏市)

業 種 ゲル線量計の作成・提供、画像化、解析

業務内容・研究開発内容

【 放射線治療における包括的なゲル線量計測定・解析サービスの提供 】

放射線治療は「見えない」放射線を体内の癌に集中させて癌を消滅させるが、この「見えない」放射線をコントロールするには、知識と経験が必要である。

また、放射線治療事故の発生を未然に防止するには、第三者機関による調査が有効であるが、現状、「放射線を機械的に発生させる外照射の第三者評価サービス」は提供されている一方、「放射線を発生させる物質を癌の近くに停留させ治療を実施する内照射の第三者評価サービス」は、国内および海外でも提供されていない。

かかるなか、新規性の高いゲル線量計に注目、ゲル線量計の利用が内照射の測定を可能にするのではと考え、専門機関、大学等との共同研究に取り組んでいる。

< 2 >

交付先 フェノバンス・リサーチ・アンド・テクノロジー 合同会社 (本社：柏市)

入居施設 東大柏ベンチャープラザ (柏市)

代表者 代表社員 遠 藤 俊 裕

業 種 基礎医学・創薬研究における技術開発、機器販売、受託試験サービス

業務内容・研究開発内容

【 長寿・抗老化医学研究を加速させる実験マウス用小型生体センサーの開発 】

本プロジェクトでは、産学連携の基礎研究成果をもとに、長寿・抗老化医学研究を加速させる、革新的な「実験マウス用小型生体センサー」の開発に取り組む。

具体的には、実験マウスの体内において、①体動・呼吸、②心拍数、③体温の数値を 24 時間 365 日全自動で記録し、加齢兆候の高精度検出と、食事等、様々な加齢予防効果の検証を効率化する、世界初の研究システムの開発を目指す。

システム開発においては、産学連携研究の成果から、エバネッセント波方式と呼ばれる無線給電技術 (バッテリーレス化) を採用することで、センサー基板の小型化 (マウス体内への埋め込み) を実現している。